

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 4 月 5 日(2023.4.5)

【公開番号】特開 2021-49305(P2021-49305A)

【公開日】令和 3 年 4 月 1 日(2021.4.1)

【年通号数】公開・登録公報 2021-016

【出願番号】特願 2019-176028(P2019-176028)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 28 日(2023.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口へ入球し、開始条件を満たした場合に当りに関する抽選を行い、該抽選の結果に基づいて利益を付与する遊技機であって、

前記抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行う変動表示手段と、

前記図柄の変動表示の実行中に前記始動口への入球があった場合には、所定数を上限として情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶されている情報に対応して保留表示を表示する保留表示手段と、

前記記憶手段に記憶されている情報に基づいて前記開始条件を満たすよりも前に前記当りに関する判定を行う事前判定手段と、

30

特別演出を含む複数の演出のなかから所定の演出を決定して実行する演出実行手段と、を備え、

前記特別演出は、前記始動口への入球があったときに、実行されている前記図柄の変動表示に対応する当りに関する抽選結果と、前記事前判定手段による判定結果とに基づき実行されうるように構成され、前記保留表示が表示される表示部とは異なる発光部を用いて実行されるものであり、前記記憶手段に記憶されている情報が上限に達していない状態で、前記図柄の変動表示が行われているときに前記始動口への入球があったタイミングで実行可能とされ、

前記特別演出が実行されているときに前記始動口への入球があったとしても、新たに前記特別演出が実行されることがないものの、前記特別演出は、前記記憶手段に記憶されている情報がない状況でも前記始動口への入球があったタイミングで実行可能で、且つ、前記図柄の変動表示が行われる際に選択されうる特定の時間よりも短い時間で実行されるように構成され、

40

前記特別演出に用いられる前記発光部とは異なる特定発光部を有し、

前記特別演出の実行時において、前記特定発光部の態様は、前記発光部を用いて行われる前記当りに対する期待度を示唆する態様とは異なるように構成され、

前記発光部を用いて行われる前記特別演出では、前記当りに対する期待度を示唆する態様として、当りを示す態様で発光可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

始動口へ入球し、開始条件を満たした場合に当りに関する抽選を行い、該抽選の結果に基づいて利益を付与する遊技機であって、

前記抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行う変動表示手段と、

前記図柄の変動表示の実行中に前記始動口への入球があった場合には、所定数を上限として情報を記憶する記憶手段と、 10

前記記憶手段に記憶されている情報に対応して保留表示を表示する保留表示手段と、

前記記憶手段に記憶されている情報に基づいて前記開始条件を満たすよりも前に前記当りに関する判定を行う事前判定手段と、

特別演出を含む複数の演出のなかから所定の演出を決定して実行する演出実行手段と、を備え、

前記特別演出は、前記始動口への入球があったときに、実行されている前記図柄の変動表示に対応する当りに関する抽選結果と、前記事前判定手段による判定結果とに基づき実行されうるように構成され、前記保留表示が表示される表示部とは異なる発光部を用いて実行されるものであり、前記記憶手段に記憶されている情報が上限に達していない状態で、前記図柄の変動表示が行われているときに前記始動口への入球があったタイミングで実行可能とされ、 20

前記特別演出が実行されているときに前記始動口への入球があったとしても、新たに前記特別演出が実行されることがないものの、前記特別演出は、前記記憶手段に記憶されている情報がない状況でも前記始動口への入球があったタイミングで実行可能で、且つ、前記図柄の変動表示が行われる際に選択されうる特定の時間よりも短い時間で実行されるように構成され、

前記特別演出に用いられる前記発光部とは異なる特定発光部を有し、

前記特別演出の実行時において、前記特定発光部の態様は、前記発光部を用いて行われる前記当りに対する期待度を示唆する態様とは異なるように構成され、 30

前記発光部を用いて行われる前記特別演出では、前記当りに対する期待度を示唆する態様として、当りを示す態様で発光可能である

ことを特徴とする。